

校長室より

第17号

「天空高き」



平成23年3月17日

巣立ちはじめた鷹の子たち！～卒業おめでとう～



式辞では時間の制約があり、皆さんに言い残したことがありますので、この紙面を借りてお話ししたいと思います。

それは、夢と志をもって生きてもらいたいということです。ある冊子に以下のような趣旨の文章がありました。

皆さんには、それぞれ夢があると思います。薬剤師になる夢、医者、看護師になる夢……。卒業を機会に今日からその夢の実現に向けて、一歩ずつ前進してください。それとともに、志を決して忘れないでください。

私は、夢とは「一人ひとりが抱く自分自身の将来に対する目標」で、その夢を実現する目的が「志」であると考えています。例えば、将来、医者になりたいという目標が「夢」であり、医者になって多くの患者を救いたいという思いが「志」です。

私達の郷土が生んだ偉大な先人である吉田松陰は、学問を目指す彼の門下生に、この志の大切さを説きました。松陰は、「名利」すなわち名声や利益のためだけに学問をするのではなく、現実の社会を変革するという熱い志のもとに学問せよと説いたのです。

皆さんが自分の夢を実現することを心から願うとともに、その夢が君たちだけの幸福にとどまるのではなく、世の中の多くの人々の幸せにつながることを期待します。

最後に卒業生の皆さんにお願いがあります。お父さんやお母さんをはじめとしてご家族の皆さんにはくれぐれも、今日まで育てていただいた感謝の言葉を必ず、自分の言葉で表してください。照

れくさいとか思わず、勇気を出して、「卒業しました。きょうまでありがとうございました」と。

本来なら、卒業生の皆さんにはなむけの言葉を贈りたいと思っていました。しかし、3月11日にマグニチュード9という我が国観測史上最大の東北地方太平洋沖地震が発生し、津波災害により、東北地方沿岸の地域で、甚大な被害に見舞われ、何千人もの尊い命が失われました。福島原発では放射能漏れも起こり、50万人以上の方々が不自由な避難生活を強いられています。そのことを思うと、3年生の皆さんに卒業おめでとうということができませんでした。この紙面で卒業生にお祝いの言葉を掲載させていただきました。

『卒業生に贈る言葉』

尾津の蓮田の水面が、春の光を受けて、キラキラと輝き、ほほに触れる風に、春のいぶきを感じる、とても清々しい季節になりました。また、校庭の桜の蕾も、大きくふくらんできました。

そんな佳き日に高水学園理事長宮川明先生、高等学校長加藤善美先生をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席のもと、平成22年度 高水高等学校附属中学校の卒業式を行うことができますことを、心から感謝申し上げるところです。それとともに、創立以来113年の学園の歴史に新しい春を重ねることができる幸いを、喜びたいと思います。

3年生の皆さんとは1年間のつきあいでしたが、たくさんの感動と勇気をもらいました。

6月、平和学習で広島平和記念資料館において、葉佐井博巳（ハサイ ヒロミ）さんの被爆者体験の話を一緒にお聞きし、「真実の目を持つこと」と「教育の大切さ」を学びました。

9月に行われた運動会では、3年生の皆さんが素晴らしいリーダーシップを発揮し、一体感のある応援合戦を披露し、我々を魅了してくれました。私が一番感心したのは、運動会までの3年生のリーダーによる下級生の指導の仕方です。良くできたときには褒め、修正すべきところは丁寧に模範を示しながら、自分たちが間違っただけ教えたときには素直に謝りながら、一生懸命に指導していました。だから下級生も不平不満を言わず、素直に上級生の指導に従い、運動会当日、生徒達が一体となった演技、まさに見事でした。

“ We can do it ” のテーマで開催された最大の学校行事、第9回若鷹祭では3年生を中心に1、2年生も良くまとまり、大成功に終わりました。皆さんの熱い思いは、高水の歴史に深く刻まれ、長く語り継がれるとともに、皆さんの姿は先生方や保護者に、下級生の脳裏に焼き付いています。新たなる伝統を築き上げてくれました。

私は入学式から皆さんの前でお話をする際には必ず、お願いしてきたことがあります。「リスペクトすること」でした。

そのリスペクトの精神を3年生の皆さんが実践してくれ、感謝しています。

3年生の諸君は、皆さんを取り巻く多くの人たちの「思い」を大切にしながら、お互いに「かけがえのない関係」をこの高水学園で築き上げてくれました。

私事で恐縮ですが、校長に就任して1年になりますが、一人では何もできないということが分かりました。先生や事務の方々、生徒達や保護者の皆さん、そして同窓生や地域の方々に支えられて、校長という職をはじめて全うできるということを学びました。

今年の生徒会のスローガンは「Step by Step、一歩ずつ」でしたが、まさに皆さんは着実に進化しています。

ところで、2月に2年生の立志式でお話ししたことを、もう少し詳しく紹介したいと思います。

栗城史多（クリキ ノブカズ）さんを知っていますか。2009年に、世界最高峰のエベレストに、酸素ボンベも使わず、たった一人で登頂に挑み、自らビデオカメラを回し、極限の状態にいる自分の姿を世界へ同時配信した登山家です。彼は、今年の春にはヒマラヤの8027mあるシシヤンパという山に単続で、無酸素で登り、山頂からスキー滑降で下山するという、無謀とも思える計画を立てています。その彼が「成功の反対は失敗じゃなくて、何もしないことだと思う。できない」という壁は自分が勝手に作り上げているもの。僕はそんな幻想を打ち破りたい。」とある新聞に寄せていました。

「成功の反対は失敗ではなく、何もしないこと」実に素晴らしい言葉ではありませんか。そして、もう一つ言葉を続けて、「一歩踏み出す勇気を伝えたい」と彼は皆さんに訴えています。一人ひとりの夢の実現に向けて、目標を高く持ち、勇気を持って一歩踏み出し、挑戦し続けて下さい。

政治学者で東京大学教授の姜 尚中（カンサンジュン）氏は、「人は人を評価するときに、どれだけ新しいことを創造したとか、どんな素晴らしい体験をしたとか、ということを問いがちですが、本当はそんなことではない。人間の価値を決めるのは、その人が『周囲にどんな態度を取ることができるか』ということだ。」と新聞記事に書いておられました。

3年生の皆さんは4月からは、高等学校という新しい環境に身を置きます。

「リスペクトすること」、「一歩踏み出す勇気を持つこと」、「人の価値は態度で決まる」ということを肝に銘じて、全力投球してください。

そして、最後になりますが、辛くなったときには後ろを振り向いてください。お父さんお母さんをはじめとして家族の方々、友達や担任の先生方、後輩たちが、しっかりあなた方を見守ってくれています。あなた方を信じ、応援してくれています。

卒業 おめでとうございます。